

文書名	管理番号	承認	確認	作成
環境 Report	8000-00-A020	林	原田	北島

# Environmental Report

(株) 木原製作所  
2021 -2 Winter

# 環境方針

経営理念を実現し、具体的に実践する経営活動の一環として、以下について取り組みます。

- 1.当社の扱う製品、サービス及び事業活動において、環境への負荷低減をはかり、地球環境保全及び汚染防止に努めます。
- 2.環境パフォーマンス向上のため、環境目的、目標を設定し、その達成に向け、定期的にレビューし、継続的改善をおこないます。
- 3.法規制、協定、組織が同意するその他の要求事項、及び当社の自主規制を順守します。

2017年6月1日

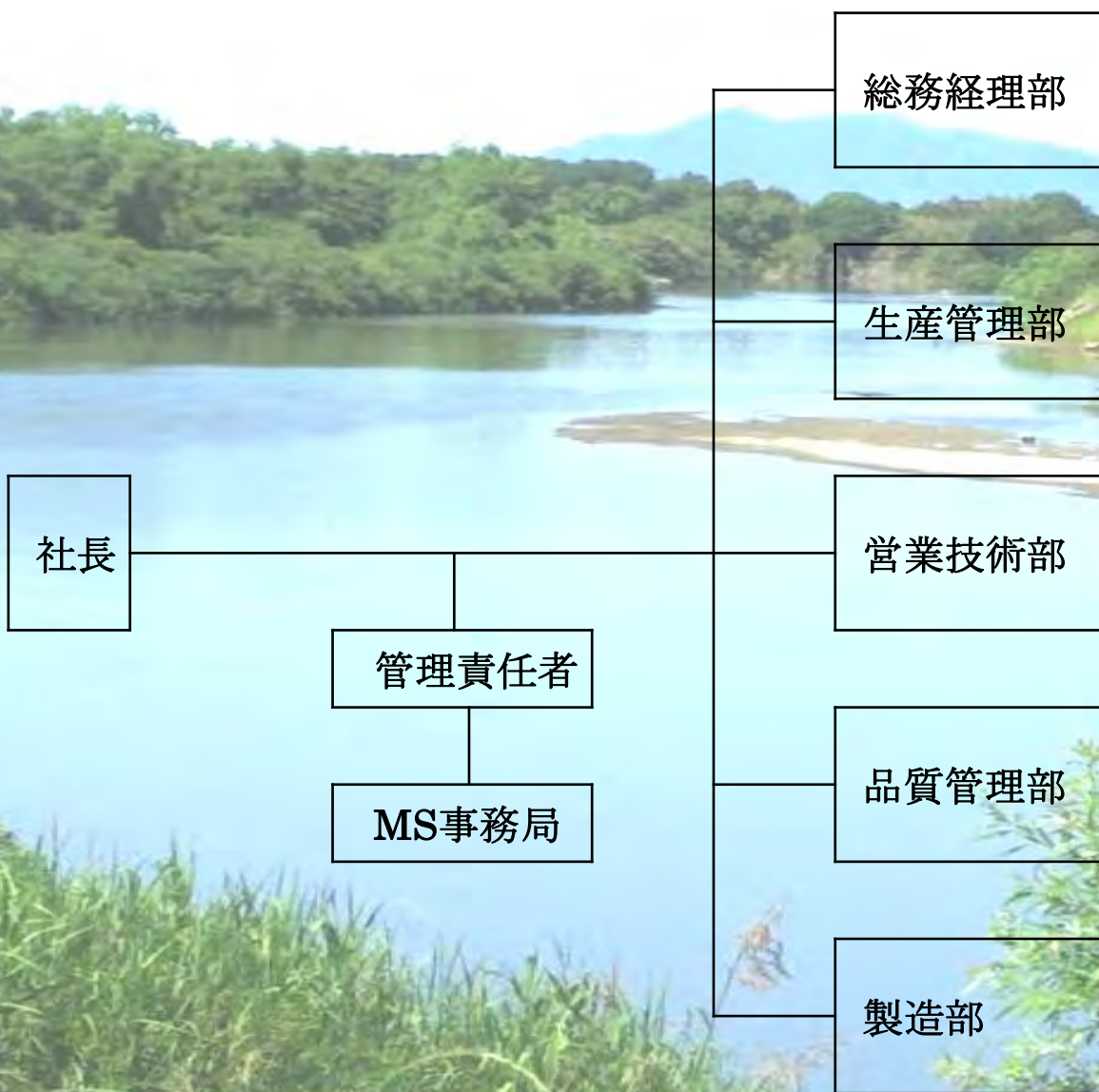
株式会社 木原製作所  
代表取締役社長

林 晃弘

# 環境組織 (2020年9月現在)

經營者

推進責任者



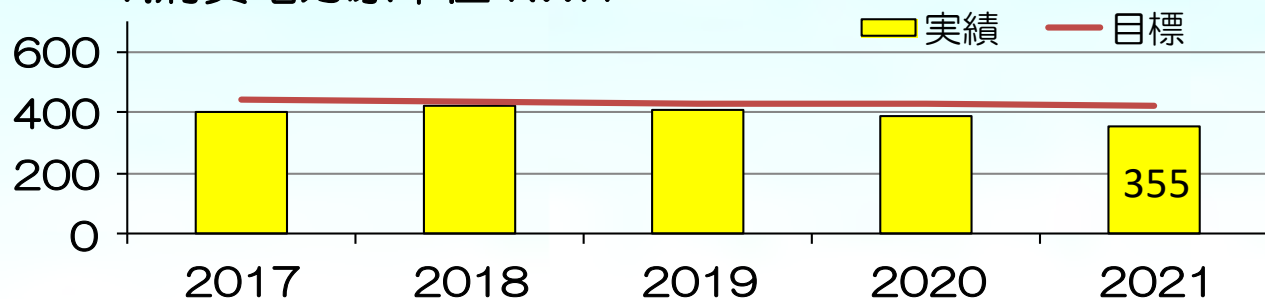
# 環境目的及び目標

環境目的		環境目標				
		2017	2018	2019	2020	2021
1.消費電力削減	率 %	△11	△12	△13	△14	△15
	原単位 kwh/月	440	435	430	425	420
2.廃棄物削減	率 %	△11	△12	△13	△14	△15
	原単位 kg/月	65	64	63	63	62
ゼロ エミッション	率 %	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3
3.スクラップ量 削減	率 %	△11	△12	△13	△14	△15
	原単位 kg/月	105	104	103	102	101
4.緊急時対応訓練の実施 (対象工程1回/年)		●	●	●	●	●
5.コミュニケーション 内部 (隔月) 外部 (毎月)		●	●	●	●	●

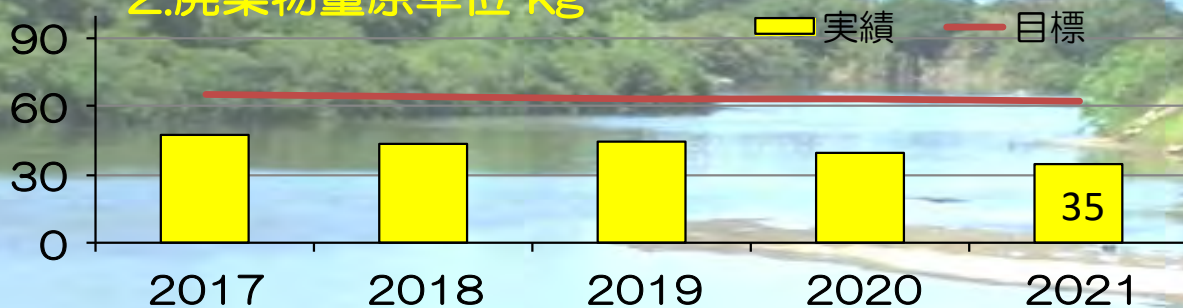
\*ゼロエミッション=埋めたて処分量/全廃棄物量

# 環境活動実績

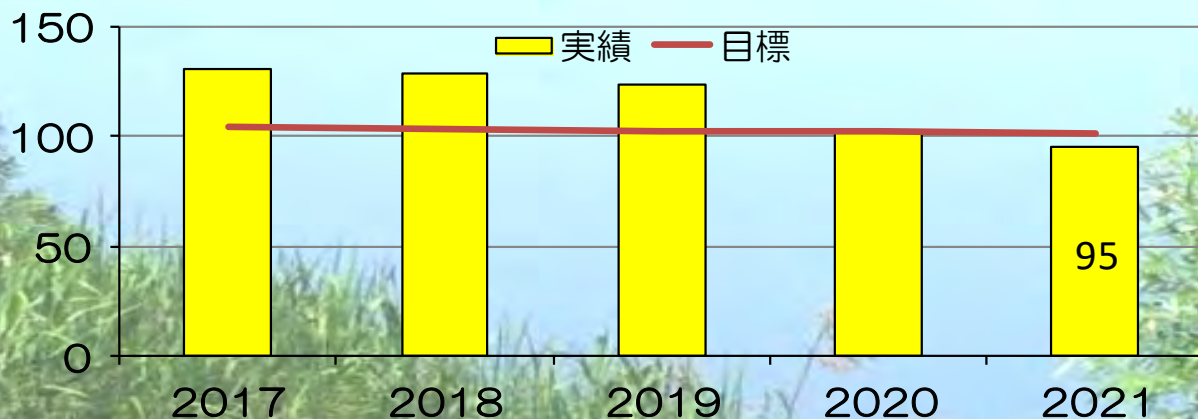
## 1.消費電力原単位 kwh



## 2.廃棄物量原単位 kg



## 3.スクラップ量原単位 kg

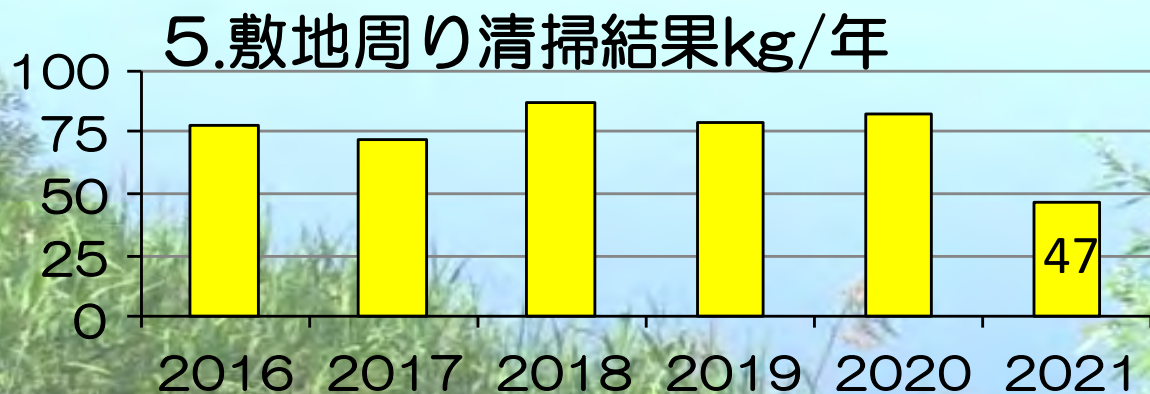


# 環境活動実績

## 4.緊急時対応訓練実施 (全12工程)



## 5.外部コミュニケーションの 一環として敷地周り清掃を 実施(毎月一回)



# 主な活動事例

2012夏 工場照明LED化

- ・LED水銀灯
- ・LED蛍光灯

2013春 工場毎デマンド監視スタート

2013夏 燃料変更（灯油⇒都市ガス）による  
CO<sub>2</sub>発生量削減  
効果：△127 t/年（△29%）

2014夏 太陽光発電スタート

2016冬 一部職場2シフト稼働開始（17/2～）  
夜間騒音対応

2018夏 スクラップ低減部門横断チーム活動  
Kick Off（1-2回/月）

2021夏 菅生沼環境保全活動「考える会」に入会

# 主な活動事例

2020.6.30 全社教育

環境側面抽出演習



2021

「菅生沼を考える会」に入会

2021

「菅生沼一斉清掃活動」に参加



2022.1.23

「菅生沼野焼き活動」に参加

